

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1258号	氏名	鶴谷純司
論文審査担当者		主査教授	新川 詔夫
		副査教授	丹羽 正美
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、新規のヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 FR901228 の小細胞肺癌の細胞増殖、そのアポトーシス活性、テロメラーゼ活性、および脱アセチル化酵素 mRNA の発現への諸影響を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>種々の小細胞肺癌樹立株における WST-1 アッセイ法による細胞増殖能の検討、およびフローサイトメトリーによるアポトーシスの評価、RT-PCR による mRNA の発現評価、および TRAP アッセイによるテロメラーゼ活性などを解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、FR901228 は、細胞増殖の抑制とアポトーシスの誘導、さらにアポトーシス非依存性の脱アセチル化酵素 mRNA の発現抑制およびテロメラーゼ活性の抑制を惹起した。また上記知見は既知の抗がん剤と異なる機序で起こることを明らかにし、同薬剤の小細胞肺癌への応用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は呼吸器腫瘍学および細胞生物学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			